

Press Release



7 . 7 . 11
水 産 課
内 線 2618

宇和島湾で発生した有害赤潮について

- 1 本日(7月11日)の水産研究センターの赤潮調査において、宇和島湾の一部海域で、危険濃度(1,000細胞/ml以上)を超える2,030細胞/mlの有害プランクトン「カレニア・ミキモトイ」が観測されました。
- 2 現段階では、この赤潮による漁業被害は発生していませんが、宇和海沿岸では赤潮が発生しやすい環境となっていることから、南予地方局水産課及び水産研究センターでは、関係漁業協同組合(支所)に対し
 - 漁場の監視を強化すること。
 - 魚類養殖では、餌止めや出荷作業を控えること。
 - 生簀の避難移動は、「赤潮被害対応マップ(H25県作成)」を参考に、適時・適切に実施すること等々を呼び掛けています。
- 3 県では、引き続き水産研究センターで調査を継続するとともに、関係市町及び漁業協同組合との連携を密にして、迅速な情報提供に努めてまいります。

○本件連絡先

愛媛県農林水産部水産局水産課資源管理係

TEL 089-912-2618

担当者：中島兼太郎(内線2618)